

総合科目III 科目群G

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1G10011	アカデミック・コミュニケーション1-伝えるための基礎-		1	1.0	3・4	春AB	月2	1C210 野村 港二	これから、論文執筆や口頭発表の機会が増えるみなさんと、単なる発表のテクニックではなく、専門的な学問の内容を伝える際に必要なことは何かを一緒に考えます。論拠を持って、事実と意見を分けて、時には気持ちをこめて、伝えるためには、どんな準備が必要なのでしょう。	(資源開設)平成23年度までの「テクニカルライティング」、および平成26年度以前に総合科目11の1C10081 アカデミック・コミュニケーション1、1C10091 アカデミック・コミュニケーション2の単位を取得した学生の履修は認めない。【受入上限数120名】
1G10021	アカデミック・コミュニケーション2-伝えるための基礎-		1	1.0	3・4	秋AB	月2	1C310 野村 港二	口頭発表の原稿と、論文の原稿は、どのように書き分けるべきでしょうか。スライドやポスターなどの効果的なデザインとはどのようなものでしょうか。そして、そもそも伝わり、分かるとは、生理学的にはどのような脳の活動なのでしょう。この講義では、専門的な内容を誰にでも伝わるように発信するという、高学年生に必要となる考え方や方法を紹介しします。	(資源開設)平成23年度までの「テクニカルライティング」、および平成26年度以前に総合科目11の1C10081 アカデミック・コミュニケーション1、1C10091 アカデミック・コミュニケーション2の単位を取得した学生の履修は認めない。【受入上限数120名】
1G24014	グローバルリーダー養成講座		4	1.0	3・4	春AB	火5	5C316 竹村 富士徳	自分の価値観や自分軸を演習やワークを通して再発見し、自分の人生の目的を考えた上で大学での目標を設定する。その目標達成のための重要事項と考え、それらを優先した計画立案を行う。さらには、人との信頼関係の構築の仕方、相手を理解することの大切さについて、ロールプレイなどを通して体得し、グローバルに相乗効果を発揮することを考え、自分が目指すべきグローバルリーダー像について整理し、理解を深める。 ・文化や慣習の違いの仕組み、価値観や信念形成の仕組みについて理解する。また、空間や時間概念、思考概念などが、アジア諸国、アメリカ、イスラム教圏の国と比較し、どのように違うか認識を深める。	(体育開設) 【受入上限数120名】
1G26031	社会基礎学II-「グローバル化」と「地方の活性化」に貢献できる輝く人材の育成:世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義		1	1.0	3・4	秋AB	集中	ユニオン講義室 坪内 孝司	世界は、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、ICT等、先端技術の進歩などにより、人材・情報・資金が国境を越えて行きかっています。同時に国は勿論のこと、国内の地域や都市の間でも競争が激化しています。このため、地球環境問題や資源・エネルギー問題など、世界にまたがるグローバルな課題に的確に対処していくことが求められています。また、少子高齢化と人口減少が急速に進んでいるわが国で、豊かな生活と産業の発展の鍵を握るのは、地方の活性化であり、地方で活躍し、輝く若い人材が求められています。 この激動の時代を生き抜く学生の皆さんが、「国際社会と地域社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励むためには、本リレー講義では、高年次の学群生を対象に、これまで学んできた教養や専門性を基礎に、社会で活躍する上において求められる総合的な基礎力や想像力、構想力、分野を超えた広い視野の向上をサポートします。 講義のキーワードである、「グローバル化とは何か」、「日本国内におけるグローバル化とは」、「地域社会の発展に何が必要か?」、について理解し、様々な課題に対して強い関心と好奇心を持ち、グローバルと地方創生の時代に果敢にチャレンジし、活躍できる人材を目指すことを期待します。	(教育企画室企画) 10/5, 10/12, 11/9, 11/23, 12/7 【受入上限数200名】